



## 高校カナダ短期留学体験報告その2

## NO.70

本校では高1～高2の生徒を対象に1月から3月までのカナダトロント近郊での短期留学を実施しています。前回に引き続き2名の生徒のレポートをご紹介します。今後留学することを考えている生徒諸君はぜひ参考にしてみてください。

カナダ留学を終えて

高校2年4組 藤本聡

今回僕がカナダ留学に参加しようと思った理由は、慣れ親しんだ場所からあえて離れてみようと思ったからだ。東京に住んでいると困った時も周りに助けられる家族や友達がいる、どこに行っても日本語が通じ何不自由なく快適に過ごせます。また海城に入学して4年が経ち居心地が良く、ある意味、日々の生活に刺激がなかった。自分を厳しい環境に置くことで挑戦しなくてはならない状況を作り、その挑戦が自分自身の成長につながるのではないかと思ったからだ。

カナダに約3カ月滞在して一番驚いたことは、カナダ人のカナダに対する愛国心の強さだ。学校の友達、現地の人、ホストファミリーなど皆カナダに対し誇りを持っていて“CANADA”と書いてある服を着ている人や、国旗を飾っている家を頻繁に見た。また、学校でできた友達の一部は、自国に対する愛国心が強い一方で、他国に対する偏見も強い印象があった。日本に対しても変な偏見を持っていたが、アメリカに対するものが多かった。“アメリカの〇〇は汚い”やトランプ大統領の文句などをよく耳にした。そして僕は日本の文化や政治についてよく聞かれたが、しっかりと答えられず、自分がいかに日本に住んでいながら日本のことを理解していないのかを気付かされた。

今回の短期留学を通じて、英語やカナダの文化についてたくさん勉強できたことはもちろんだが、日本にいたら気付かなかっただろう自分自身や、母国を見つめ直すことができた。

(写真はホストシスター、ホストブラザーと撮ったもの)



今回、この留学プログラムに参加でき、本当に貴重な時間を過ごすことが出来ました。この3ヶ月という時間は、長いようで短いものでした。その中で得られたものは、かけがえのないものであり、行った人だけが感じられるものだったと思います。もちろん、日本にいた同級生は、変わらず勉強や部活に励んでいた(?)わけで、その分失ったものも大きいのは事実です。なので、その遅れを取り戻してこそ、初めて周りとは違う、何か特別で貴重な時間を過ごせたと言えるのではないかと考えています。

カナダにいる間は、ゆっくりとした時の流れの中で、様々なことを考えさせられました。日本との生活の違い、学校システムの違いなど、また自分の人生についても悩んだりしました。その中で、一番いい経験だなと自分で考えたのは、学校で出会った友達との時間の尊さです。彼らは、日々漫然と高校に通っている我々と違い、自分らの将来についてしっかりと考えている、と思いました。要するに「大人」な思考をしていると思いました。僕はそれについて、学校のシステムに理由があると思いました。日本と違ってどちらがいい、などと優劣をつけたりはしませんが、向こうは **University** に進む際に高校でどの科目を取らなければいけないか考えないといけない。つまり、高校にいる段階で、自分の将来構想を固めておかないと、高校の授業選択に困るからです。このように、学校でよく話した友達は、自分達より社会経験豊富で、「大人」であるな、といい意味ですごく影響されました。これが、グローバル通信に書くべきであろうような留学の経験です。

ここからは少しだけ、子供らしい、楽しかった思い出を紹介したいと思います。それは大きく2つあります。

ひとつは、トロントをゆっくりと観光できたことです。トロントは、北米で4番目に大きい都市ということもあり、高層ビルが立ち並び、オシャレな雰囲気をかもし出す街でした。そこでショッピングをしたり、NBA を見に行ったりしたのは、人生において一度あるかないかのすごくいい思い出でした。

もうひとつは、1つ目に比べて見劣りするかもしれませんが、スキーにたくさん行けたことです。中でも、ホストブラザーたちとスキーした時は、笑いあり、怒りありの楽しい日となりました。日本にいたら、あれほどの回数は行けなかったと思います。

と、たくさんズラズラと書いてきた訳ですが、ここには話きれないくらい、いい経験も、嫌な経験も出来ました。これがきっかけとなり、もう一度海外で勉強したいとも思ったりもしました。これも、全ては海城の先生方、渡航関係の会社の方々、ホストファミリー、現地の友達、カナダで時を共にした久々宮くん、藤本くん、鍋谷くん、立本くん、そしてなにより行く時も帰る時も暖かく見守ってくれた両親のおかげです。本当に、ありがとうございました。



## グローバル・エンタープライズ・チャレンジ参加報告その2

前号に引き続き GEC (Global Enterprise Challenge) に参加した本校の高校生チームのレポートです。当日の朝 8 時に課題が出され、夜 8 時までには独自の英文ビジネスモデルプラン文書と 3 分間の英語ビデオプレゼンテーションの提出が求められます。今年の課題は以下の通りです。

To develop an innovative business idea to contribute to the ending of IUU fishing and to manage fisheries sustainably as well as conserve marine biodiversity. You will present your business plan to a panel of venture funders who are interested in investing in social enterprises that aim to solve these problems using the latest available technology.

IUU fishing とは Illegal (違法)、Unreported (無報告)、Unregulated (無規制) で行なわれる漁業のことです。生態系に配慮しつつルールに則した漁業を両立させるにはどんなアイデアがあるのでしょうか？今回は高1・高2混成の8名からなるチームです。

高校2年 小林恒司(チームリーダー)、清水琢也、岡本大輝、双川凜生、新正慧  
高校1年 持田隼人、小嶋匠実、塩川龍哉

GECに「New Gentlemen」という海城の教育目標を背負ったチーム名で参加させていただいた小林恒司です。「New Gentlemen」は新高1、新高2からなる計8人で競技を行いました。まずはじめに、機器の貸し出しなどを含めて協力してくださった教職員の方に改めて深く感謝の意を申し上げます。

さて、結果が全てという言葉から言えば、我々は敗者です。我々のチームは日本予選の段階で負けました。3/68という狭い枠ではありましたが世界大会枠を本気で狙って、計画し、挑み自信をもって提出していたため本当にとっても悔しいです。

さて、この競技は12時間という限られた時間の中でマストの課題が山ほどあり、さらに良いものにするためにはやるが増えます。絶対に私1人ではこなせませんしおよそ通常の高校生もできないでしょう…。その無理と思える課題に挑もうと思ったのは何か策があるからではなく、ビジネスが好きなわけでもなく、ただの興味です。またここでも結果を言いますと我々は自信のあるものを完成させました。ひとえに協働の存在故の結果でしょう。しかし8人は皆が仲良しのグループというわけではありませんでした。この競技の中で知り合った人も少なくなかったです。ですが打ち合わせや当日に、本気で各自のタスクに本気で挑む様子を各人が見る中で互いの信頼関係が生まれていたことは確かだと思います。

なにが言いたいのかといいますと、このご時世、様々な種類のプログラムがあり、I (C) Tの発展で地域差なく参加できることが多いと思います。ありきたりですがぜひ興味がなくとも、自信がなくとも、本気でやる人たちと一緒に飛び込んでみてはどうかということです、もちろん協力してくださる人がいてのことですから偉そうには言えませんが、目的もなく参加するのはむなしいですが、いろんな活動を通して得るものは目的の中にあることは少ないし、何が得られるかはやる前はわかりません。

けれど興味がないと飛び込む気持ちにはなれないかもしれません。そんな時はGECのような、さまざまな知識(GECでは、環境、社会、ビジネス、先端工業、科学、PC諸技能など)が求められる活動はいかがでしょうか。自分の得意、好きがチームで生かすことができるかもしれません。以上何か参考になれば幸い中の幸いです。



予選当日の活動風景（このチームは学校内で活動しました）

## 夏のイベント紹介 海外で学ぶ

新学期が始まったばかりではありますが、夏休みに実施されるグローバル関係のプログラムが各所より届き始めています。以下パンフレットに記載されている情報を抜粋で御紹介します。尚、ここで御紹介するプログラムは本校が主催するものではありませんので、内容の詳細に関する問い合わせや申し込みなどは各ご家庭で主催団体までお願い致します。

- 1 オレゴン州立大学サマープログラム（UPAA Japan 主催）  
高校生（16才以上、英検準2級以上）対象  
8月8日（木）～24日（土） 帰国は25日（日）  
学部紹介、専攻分野についての体験型講座、大学授業聴講、アメリカ人学生交流会 等  
大学寮に宿泊  
\$3,450 + 往復渡航費、保険など  
申し込み締め切り 6月1日
- 2 次世代リーダー養成プログラム（ISA 主催）  
高校生（英検準2級以上）対象  
7月22日（月）～29日（月）  
カリフォルニア大学バークレー校の寮に宿泊  
力強く成長し続けるための学びを得ること、進路選択の幅を広げること、そして自分の強みや  
パッションを見つめることを目的にカリキュラムやレクチャー、ディスカッションやアクティ  
ビティがデザインされています。  
518,000円（税込み）  
5月11日（土）にISA 本社（品川）にて説明会あり  
申し込み締め切り 5月16日

上記1と2は希望者にチラシを差し上げることができます。2号館2階のグローバル教育部までどうぞ。会議等で席を外している場合もありますのでご了解下さい。